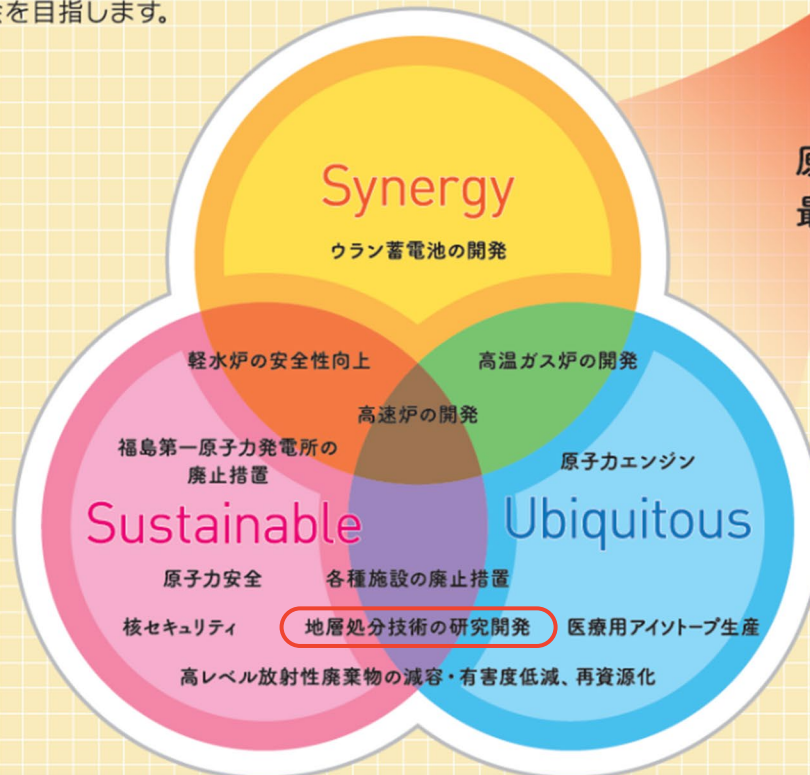


幌延深地層研究計画の概要

「ニュークリア×リニューアブル」 で拓く新しい未来

原子力(ニュークリア)と

再生可能(リニューアブル)エネルギーが二元論を乗り越え、
融合することで実現する新しい**持続可能**(サステナブル)な
未来社会を目指します。



原子力科学技術を
最大限に活用

ニュークリア×リニューアブルの
Synergy
相乗効果のための研究開発

Sustainable
原子力自体を**持続可能**に
するための研究開発

Ubiquitous
原子力利用の**多様化**に
向けた研究開発

2050年
脱炭素社会



幌延深地層研究センターでは「地層処分技術の研究開発」を実施

東濃地科学センター

旧瑞浪超深地層研究所
(結晶質岩)



幌延深地層研究センター

幌延深地層研究センター
(堆積岩)



深地層の研究施設

核燃料サイクル工学研究所 (茨城県東海村)



【地下施設イメージ図】

※旧瑞浪超深地層研究所では、令和4年1月に、地下施設の埋め戻し及び地上施設の撤去が完了



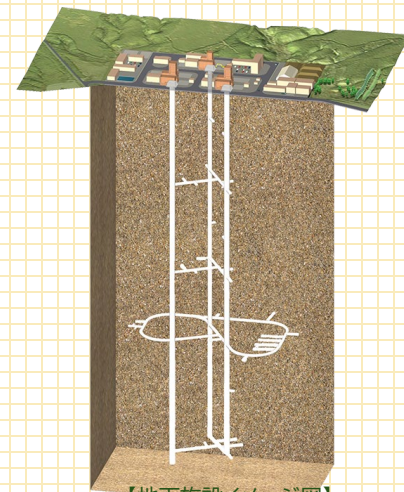
地層処分基盤研究施設
(コールド施設)



地層処分放射化学研究施設
(ホット施設)



霧団気制御
グローブボックス

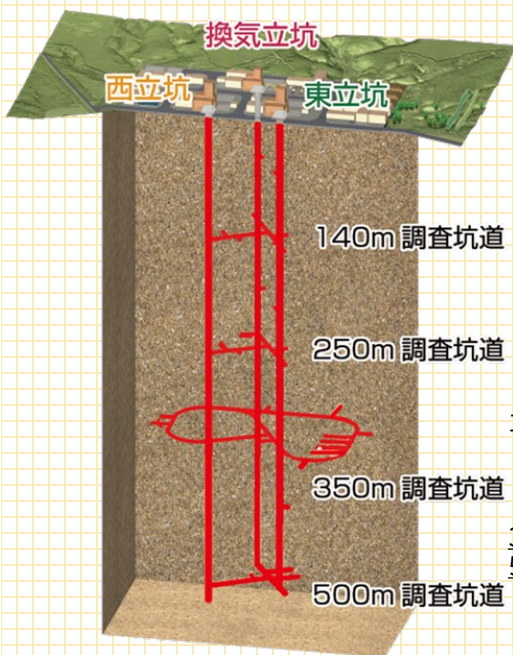


【地下施設イメージ図】

高レベル放射性廃棄物の地層処分技術の研究開発

地層処分事業で必要となる技術の信頼性向上、高度化

深地層を体験・理解する場



地下施設イメージ図
掘削済み

timeline

R8.1 地下施設整備工事完了

R7.9 500m調査坑道掘削終了

R5.9 地下施設整備工事再開

R2.1「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」決定
第4期中長期計画期間(R10年度)を目途に研究課題に取り組む

第3段階

地下施設での調査研究

H26.6 350m調査坑道掘削終了

第2段階

坑道掘削(地下施設建設)時の調査研究

H17.11 地下施設整備掘削開始

第1段階

地上からの調査研究

H13.3 調査研究開始

H12.11 三者協定締結(放射性廃棄物を持ち込まない・使用しない、埋め戻す、処分場にしない)